

令和8年第3回定例会一般質問

日 時 9月2日（水曜）、3日（木曜）、4日（金曜）、7日（月曜）
 いずれも午前10時から
 ※質問、答弁を含んで概ね1人60分

内 容 発言通告書（一般質問）のとおり

発言順	議員名	質問日（予定）
1	吹 春 やすたか	令和8年9月2日（水曜）
2	鈴 木 成 夫	
3	小 林 正 樹	
4	清 水 学	
5	岸 田 正 義	
6	吉 良 の り こ	
7	村 上 よ う す け	令和8年9月3日（木曜）
8	た ゆ 久 貴	
9	太 田 宏 徳	
10	天 野 か な	
11	な が と り 太 郎	
12	沖 浦 あ つ し	
13	藤 川 賢 治	令和8年9月4日（金曜）
14	中 井 れ い 子	
15	遠 藤 百 合 子	
16	水 上 洋 志	
17	安 田 け い こ	
18	坂 井 え つ 子	
19	河 野 麻 美	令和8年9月7日（月曜）
20	渡 辺 大 三	
21	片 山 か お る	
22	水 谷 た か こ	
23	森 戸 よ う 子	

一般質問の通告について

発言順

1

令和8年8月20日
(西暦2026年)

(宛先)
小金井市議会議員

小金井市議会議員

吹春 やすたか

発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
1、小金井市は自然大災害発災時に市民を守るための施策の充実を図れているだろうか。	
(1) 避難所の環境について、熊本地震や能登半島地震の教訓が生かされているか。	
・避難した際、市民目線での物資の拡充具合はいかがか。	
・被災地から“学んだこと”“本市にない視点”など課題となった事はあるか。	
(2) 災害発災時のトイレ対策について問う。	
・“トイレトラック”の導入は新たな一歩と捉えるが、小金井市の自然大災害発災時において、トイレ施策はこれで「ゴール」なのか。また、これからの自然大災害発災時のトイレ施策はどのような展開を予定しているのか。	
・市民の声として“トイレトラック”は必要との声と、必要性を疑問視する声もある	
そこで更なる周知徹底こそ必要と考えるが市としての見解はいかがか。	
(3) 自然大災害発災時の緊急医療体制について問う。	
・大災害発災時に救護医療も絶対に大切である。発災後はどう機能するのか。	
・トリアージなどを経た傷病者は市外の災害医療体制へと引き継がれる事となる事が予想されるが訓練などはどのような予定なのか。	
(4) 災害対策本部について問う。	
・これまで数多くの災害被災地を視察してきた。災害対策本部のスムーズな立ち上げも、重要な要素と捉えている。市の現状はいかがか。	

2

令和8年8月 20日
(西曆2026年)

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

鈴木 成夫

發言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

[illegible]

一般質問の通告について

発言順

3

令和 8 年 8 月 20 日
(西暦 2026)

(宛先)
小金井市議会議員

小金井市議会議員

小林 正樹

発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
1. <u>前立腺がん検診の導入による男性のがん対策の充実について</u> <u>前立腺がんは男性に多いがんの一つであり、早期発見・早期治療が重要である。近隣自治体ではPSA検査を活用した検診が進む中、検診導入を含む男性のがん対策の充実について検討すべきである。</u> (ア) <u>本市における前立腺がんの現状と検診の考え方について</u> (イ) <u>近隣自治体における前立腺がん検診の実施状況について</u> (ウ) <u>前立腺がん検診の導入と男性のがん対策の充実について</u>	
2. <u>公共工事における総合評価方式の検証と改善について</u> <u>市では総合評価方式による入札を実施しているが、価格と技術評価の配点や地域貢献の評価、施工後の実績検証など、改善の余地がある。より品質の高い公共工事と地域経済の活性化につながる制度のあり方を問う。</u> (ア) <u>本市における総合評価方式の現状と効果について</u> (イ) <u>近隣自治体との比較から見た制度の課題について</u> (ウ) <u>今後の総合評価方式の改善について</u>	
3. <u>公共サービスの質を支える労働条件審査の導入について</u> <u>指定管理業務において、適正な労働条件を確保することは、安定した公共サービスの提供に欠かせない。他自治体で広がる第三者による労働条件審査について、本市でも導入を検討する必要がある。</u> (ア) <u>本市における指定管理業務の労働条件の把握について</u> (イ) <u>都内自治体における「労働条件審査」の導入状況と効果について</u> (ウ) <u>本市における労働条件審査の導入について</u>	
4. <u>災害時の混乱を防ぐ生産緑地の活用ルールと協定の検証について</u> <u>生産緑地は、避難空間や延焼防止、井戸水や農産物の活用など、災害時の貴重な防災資源となる。一方、事前のルールがなければ無秩序な立入等による混乱も懸念される。活用方法や役割を定める協定の検証が必要ではないか。</u> (ア) <u>本市における生産緑地の防災機能について</u> (イ) <u>協定に基づいた具体的な災害時における農地の活用等の検証について</u> (ウ) <u>生産緑地を活用した地域防災力の向上について</u>	

一般質問の通告について

発言順

4

令和 8年 8月 20日
(西暦 2026年)

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

清水 学

発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
「自転車、どこに停める？」 東小金井の自転車環境を考える ～安心して「走る・停める・歩く」まちへ～ 東小金井駅に近接する梶野公園では、公園利用者以外によると思われる自転車の駐輪が常態化している。本来、公園利用者のための場所であり、このままの状況を放置してよいとは考えられず、市として対策を講じる必要がある。同時に、「なぜ、そこに停めるのか」という原因にも目を向けなければ、根本的な解決にはつながらない。 また、令和10年度完成予定の東小金井駅北口の新たな公園は、地域の皆さんが長い時間をかけ、まちづくり協議会でコンセプトを練り上げてきた大切な公園である。梶野公園と同じ状況を繰り返さないためにも、今から駐輪対策を考える必要がある。 一方、東小金井駅周辺の市営自転車駐車場には空きも見られる。既存駐輪場の利用促進や利便性向上も含め、現場で起きている課題を令和10年度策定予定の自転車総合計画につなげ、東小金井のこれからの自転車環境を考えていく。 1. 梶野公園における駐輪常態化とその対策、東小金井駅周辺の駐輪環境について (1) 梶野公園における駐輪常態化の実態と、市の認識について (2) 梶野公園での駐輪常態化対策について (3) 東小金井駅周辺の自転車駐車場の収容台数、利用状況について (4) 利用率に余裕のある自転車駐車場への誘導・利用促進策のその後の検討について 2. 東小金井駅北口に新設される駅前公園の駐輪対策について (1) 駅前公園における公園利用者の駐輪についての考え方 (2) 梶野公園と同様の状況を生じさせないため、整備段階から検討することについて (3) 東小金井駅北口まちづくり協議会で積み重ねてきた議論を踏まえた今後の公園整備について 3. 市営自転車駐車場の利便性向上について (1) 今年7月から開始したキャッシュレス決済の利用状況と効果について (2) 今後の既存自転車駐車場へのキャッシュレス決済対応の拡大について 4. 小金井市自転車総合計画の策定に向けた取組について (1) 令和7年度から令和9年度までの準備・検討の進捗状況について (2) 駐輪施策、利用実態・ニーズ調査等、現在検討している内容について (3) 自転車ネットワーク計画、自転車通行空間及び歩行者の安全確保について (4) 令和10年度の計画策定に向けた今後の取組について 以上	

一般質問の通告について

発言順

5

令和8年8月20日
(西暦2026)

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

岸田 正義

発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
(1) 小中学校等における起立性調節障害の周知啓発について	
①起立性調節障害を当事者から広める会から寄贈頂いた	
リーフレットの活用状況について	
②当事者による講演会について	
③担任の先生など現場教員の研修会の更なる周知啓発について	
(2) フロントヤード改革に資する開庁時間の短縮について	
①行財政改革2030における位置づけと目的について	
②これまでの検討状況について	
③市民利用手段の確保について	
④持続可能な市民サービスの提供体制について	
⑤今後の方針について	
(3) マイナンバーカード手続きについて	
①窓口の混雑状況について	
②混雑の要因と対策について	
③今後の対策について	

一般質問の通告について

発言順

6

令和 8 年 8 月 20 日
(西暦)

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

吉良 のりこ

発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
第10期小金井市介護保険・高齢者保健福祉総合事業計画/認知症施策推進計画策定に関する調査報告書を踏まえた高齢者施策について 同調査報告書に示された高齢者の就労・生きがい、社会参加地域での支え合い、デジタル活用、介護を支える人材・専門職の環境整備等について、市の認識と今後の取り組みを伺う。	

7

[illegible]

8

たゆ久貴

[illegible]

一般質問の通告について

発言順

9

令和8年8月21日
(西暦2026年)

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

太田 宏徳

発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
1. 私道の維持管理支援について 私道は、地域住民の日常生活を支える生活道路である一方、所有者や地権者の高齢化、相続等により、維持管理が困難となることが懸念される。そこで、以下について伺う。 (ア) 私道の補修の補助について (イ) 私道維持管理の課題について (ウ) シルバー人材センターによる簡易舗装の可能性について (エ) 私道所有者と舗装事業者をつなぐ支援について (オ) 地権者の合意形成に対する行政支援について 2. 激甚化するゲリラ豪雨に対する内水氾濫対策について 近年、線状降水帯やゲリラ豪雨など、短時間に局地的な大雨が発生しており、河川から離れた地域でも内水氾濫や道路冠水等のリスクが高まっている。こうした局地的な豪雨災害に対して、浸水リスクを的確に把握し、事前の備えと発生時の迅速な対応につなげることが重要である。 (ア) 局地的な浸水・冠水等の発生状況を、市が迅速かつ的確に把握するための情報収集・共有体制について (イ) 市民からの通報、気象情報、ライフライン事業者等からの情報を活用した、リアルタイムな情報把握と情報発信の強化について (ウ) 水防法に基づく「雨水出水浸水想定区域」の指定について、市の現状と今後の考えについて (エ) 同区域の指定を踏まえた内水ハザードマップの整備・法定化と、市民への周知・避難行動につなげる取り組みについて (オ) 想定を超える局地的豪雨に備え、現在の内水氾濫対策について、今後どのような強化が必要と認識しているか	

一般質問の通告について

発言順

10

令和 8 年 8 月 21 日
(西暦 2026)

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

天野 かな

発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第 60 条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
1. 母子保健事業の利便性の向上及び 産前産後の各種申請のデジタル化について 核家族化の進行や、妊娠・出産・育児期における時間的・精神的余裕の乏しさを踏まえると、必要な支援が申請主義や利用者みずからの情報収集に依存したままでは行き届かない構造的な課題がある。母子保健・子育て分野における産後ケア事業、各種手続き及び情報発信のあり方について、実体験も踏まえて問う。 (1) 産後ケア事業について、利用者想定と実際の利用実績、見込みと実績についての分析、今後の課題についての市の見解 (2) 母子保健事業に係る各種手続きの Web 申請化並びに母子健康手帳アプリもしくは LINE 等を活用した申請・予約のワンストップ化についての市の見解 (3) 事務事業評価においても市が課題としている相談体制や情報提供及び周知に対する具体策 2. ガバメントクラウド・システム標準化への対応・AI 導入に係る現況について 地方公共団体情報システム運用最適化支援事業費補助金への対応状況及び標準準拠システムの運用開始後の現況を問う。併せて、シャドーIT・内部 AI 活用に関する市の方針について問う。 (1) 地方公共団体情報システム運用最適化計画の策定・提出状況及び東京自治体クラウドの覚書更新状況 (2) 標準準拠システムの移行完了状況並びに稼働開始後のバグ修正・追加開発費・窓口業務負担等の現況 (3) シャドーIT・セキュリティリスクへの認識及び内部業務効率化のための生成 AI 活用に関する市の方針	

一般質問の通告について

発言順

11

令和 8年 8月 21日
(西暦2026年)

(宛先)
小金井市議会議員

小金井市議会議員

ながとり太郎

発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
1. 単身者が安心して暮らせるまちづくりを 【趣旨】小金井市では一般世帯の48.3%が単独世帯であり2040年には過半数に達する。入院や賃貸住宅、死後事務、災害時の安否確認などの社会生活上の仕組みの多くが家族の存在を前提としているが、頼れる家族がいない市民、特に高齢者施策の網に達していない、40～64歳の単身者の現状を確認し、改善を求める。 (1) 小金井市での単身世帯率と世帯主が40～64歳の単身率を把握しているか。 (2) 40～64歳の単身者が現在使用できる事業にはどのようなものがあるか。 (3) 現状の施策・事業でただちにできる改善にはどのようなものがあるか。 2. CoCoバス再編を契機に運行データの公開と効果測定を 【趣旨】CoCoバスの運賃改定・ルート再編が令和9年4月に迫っている。この趣旨を市民が理解し、なお一層便利に使っていただけるよう、CoCoバスを利用者にとって透明性が高く、利便性の高いものにするためのデータ公開の方法を問う。 (1) 再編・運賃改定の効果を測るための基準と、実施前データの記録・公開を行わないか (2) 再編に伴う運行データ(GTFS-JP)の整備と市による全路線データの公開を行わないか (3) 利用実績・収支を分かりやすく定期公表しないか	

一般質問の通告について

発言順

12

令和 8 年 8 月 21 日
(西暦 2026)

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

沖浦 あつし

発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
1. 移動支援事業について問う ● 対象要件緩和以降の利用状況について ● 支給決定後に、一定期間サービス利用実績がない方へのフォロー ● ガイドヘルパーは不足していないか現状確認 ● 移動支援従事者研修の状況について 2. ひきこもり支援、医療機関につないだ場合の対応について問う ● ひきこもりに関する相談件数や対応状況 ● 本人が出向けない場合の、訪問診療やオンライン診療を行うクリニック(診療所・医院)の把握 ● 医師の診断書・意見書がなくても受給者証を発行できる事例について ● 相談支援事業所との連携(ひきこもり支援ネットワークづくり) 3. 庁舎及び(仮称)新福祉会館建設事業 ● 今定例会で「建設工事費の再積算に係る予算」が上程されなかったことによる影響と今後のプランについて市長に問う	

一般質問の通告について

発言順

13

令和 8年 8月 21日
(西暦2026)

(宛先)
小金井市議会 議長

小金井市議会 議員

藤川 賢治

発言通告書（一般質問）

小金井市議会 会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
1. 市施設の上流ネットワークについて 小金井市の国立研究開発法人 NICT が防災無線Wi-Fiを社会実装、展開している。仮に市が導入する場合、普段からの耐障害性確保と、災害時の市と避難所のネットワークインフラを確保しつつ、LGWANも通せることで上流有線回線を減らし経費削減が見込める可能性があるのか検討するため、質問する。セキュリティ上問題にならない形で回答を求める。 ア) 市がネットワークを構築している拠点のリスト イ) ネットワーク拠点の上流回線は各何種類か、また年額費用 ウ) 年間のネットワークの管理委託費 2. 新庁舎・新福祉会館建設について ア) 新庁舎・新福祉会館建設の令和7年の入札失敗と不調について イ) 議決を経ない金額174億円で、設計見直しせずR10年の入札を目指すことについて ウ) 「市民案(見直し案)」について、機能や入札時期、入札失敗との関係について エ) 「中期財政計画における庁舎等建設事業の取扱いについて」の先行竣工に関する矛盾 オ) 130億円でどの程度の規模、構造、配置が実現可能かのサウンディング調査について カ) 130億円で試算すると総額 242億から、53億円、利子だけで10億円減るのでは無いか 3. ワクチンについて ア) 妊婦向けRSウイルスワクチンでの副反応疑い報告や健康被害救済制度申請について イ) モノクロナール抗体をワクチンとして使用するための予防接種法の改正について ウ) 上記の薬価や小金井市で定期接種に組込まれた際の接種委託料について エ) 厚生科学審議会「HPVワクチンの安全性に関するフォローアップ研究」について オ) 市の広報やHPでワクチン接種に関する情報として健康被害情報の提供について カ) 2021年～2023年接種歴のVRSへの記入で先に死亡していた場合でも入力されていたか 4. 小金井市新型インフルエンザ等対策行動計画の改定について 委託仕様書(案)では対策の「効果等を把握」「各取組みを評価」「世界での対応」を踏まえ今後の対応を検討するとなっている ア) 新型コロナ対策の効果と評価と振り返りと評価について（世界での対応を踏まえ） イ) 「庁内調査結果等報告書」と計画への反映について ウ) マスク、行動制限、緊急事態措置、ワクチンについて 5. 市の窓口のパーティションとマスクについて	

一般質問の通告について

発言順

14

令和 8年 8月 24日
(西暦2026)

(宛先)
小金井市議会 議長

小金井市議会 議員

中井 れい子

発言通告書（一般質問）

小金井市議会 会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
1. 不登校支援・多様な学びと居場所の充実について 小中学生の不登校が増加する中、子どもの「行きたくない」という思いを尊重し、学校への復帰だけを目標とするのではなく、一人ひとりの状況に応じた多様な学び方や過ごし方を認めることが重要である。そこで、不登校の児童生徒とその家族を支える本市の取り組みについて伺う。 (ア) 国・東京都の不登校支援を踏まえた本市の現状について (イ) 不登校児童生徒のSOSへの早期対応について (ウ) 不登校児童生徒が利用できる居場所づくりについて (エ) 保護者への更なる支援体制の充実について (オ) 今後の不登校支援の方向性として地域で支える取り組みについて	
2. 香りによる健康への影響（香害）について 柔軟剤や制汗剤などの香りが、不快感だけでなく健康被害を引き起こし、日常生活に深刻な支障を来す場合がある。こうした「香害」については、いまだ認識が十分に広がっていない。誰もが加害者となり得る身近な問題であることから、香害への理解促進と当事者への支援について伺う。 (ア) 香りによる健康への影響についての本市の認識 (イ) 市の公共施設等における配慮への取り組みの実施状況について (エ) パネル展の開催や啓発ポスターの作成など、周知啓発を進めないか。	
3. 5歳児健診の実施と健診後の支援体制について 5歳児健診実施にあたり相談や支援を担う専門職を含め、現場の人員体制を整えるとともに、健診という「入り口」だけでなく、気づきのあった子どもと保護者を確実に支援につなげる「出口」としての受け皿とフォロー体制を整備することが重要と考える。 (ア) 他市の先行事例を踏まえた本市における5歳児健診の実施について (イ) 健診後の受け皿と支援を担う人員体制について (ウ) 5歳児健診の開始に向けた体制整備について	

一般質問の通告について

発言順

15

令和8年8月24日
(西暦)

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

遠藤百合子

発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
1, 健康維持のための食育を！！ 2026年5月に改正食育基本法が成立・施行された。消費者が食と農のつながりの理解を深め、生産者と連携して国産地場産物の生産基盤を守り、豊かな食と食生活を維持・継承すること。食料安全保障と健全な食生活を実現することを目指すとしています。 (1) 教育委員会としての取組は (2) 学校で栄養士さんに、改めて講話等をお願い出来ないか (3) 大人の食育運動を掲げ企業・家庭等、連携した取組を (4) 食育を担う人材確保の充実は (5) 市の取組の、その成果の見える化と効果検証を (6) 玄米の持つ健幸への効果と広報を 2, 伝統文化の継承と歴史文化の再認識を (1) 小・中学校における伝統文化体験、例えば茶道、書道、和楽器、郷土芸能、神社祭礼の見学等の実施状況と歴史文化認識状況は (2) 地域伝統行事の課題の状況について市はどのように把握しているか (3) 地域伝統文化と歴史的文化を守るためにどのような支援がよいと思うのか、今後具体的な検討、また予算化の予定があるか (4) 地域伝統行事の課題の状況について市はどのように把握しているか (5) 施設の貸出し状況において、伝統文化及び歴史文化関連の年間利用件数、学校向け優先枠、料金免除・助成は (6) 市長は議員時代に小金井桜への認識が薄かったが現状の認識は 3, 主権・国土(地域を守る意識)の醸成を	

一般質問の通告について

発言順

17

令和 8 年 8 月 24 日
(西暦2026)

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

安田けいこ

発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第 6 0 条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
(1) <u>HPVワクチン接種 リスクについて周知を</u> HPV ワクチン接種は現在、製薬会社の広報活動や推進派の SNS 投稿などで盛んに勧奨され接種者が増えている。比例して副反応協力医療機関の受診者も増えているが、接種のリスクについて市民への情報提供は甚だ不十分である。 ・厚労省の情報をもとに副反応について情報提供を ・副反応被害者への対応、相談体制、医師会や学校の認識 ・子宮頸がん検診を受けやすく ・自己決定するための包括的性教育について	
(2) <u>身体にも環境にも優しい石けん利用を広げよう</u> 「洗剤は極力石けんを使用し、合成洗剤を必要以上に使わない」小金井市環境行動指針は守られているのか。合成化学物質を避けて身体にも環境にも負荷のない社会を実現しよう ・保育園・小中学校での石けん利用状況 ・石けん使用指針をつくらないか ・香害についての周知、学校での給食衣の移香について	
(3) <u>ごみ減量の取組を進めよう</u> ・布団・羽毛・食器類等の資源化について ・リユース事業について ・マイボトル専用給水機の設置を増やそう	

一般質問の通告について

発言順	18
-----	----

2026年 8 月 24 日

(宛先)
小金井市議会 議長

小金井市議会 議員
坂井えつ子

発言通告書（一般質問）

小金井市議会 会議規則第 60 条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
1 市立小中学校の教室を断熱改修しよう	
市立小中学校では、文部科学省のマニュアルに基づいて、年 2 回教室の温度測定等を行なっている。文部科学省が“夏の時期に最も望ましい”としている 28 度を超えている教室は、2023 年、2024 年は 3 箇所ずつ、2025 年は 2 箇所あることがわかっている。2026 年の測定結果及び、測定の状況・体制を確認する。	
2 地震や、もはや想定外ではない地球沸騰化による気候変動に備えよう	
最近、市内においても停電や地震が発生している。	
(1) 感震ブレーカーの設置支援を	
都内では 22 区 10 市で支援制度がある(東京都・2026 年 6 月時点)。2014 年以降、議会で制度を求める意見があったが、12 年間、市は研究を続けている。	
(2) 市町村における業務継続性確保のための非常用電源設置済団体数は 1,696 団体(設置率 97.4%) となった(総務省・2025 年 4 月 1 日時点)。都内自治体(23 区 26 市 5 町 8 村)で設置されていないのは、いよいよ小金井市のみとなった。災害発生時の対応を懸念している。	
① 災害対策本部が設置される本庁舎に非常用電源がない状況について	
② 災害対策本部設置の第二、第三優先順位における非常用電源の設置状況は	
③ 落雷等で電源が喪失し、非常用電源がない場合の対応は	
3 “はけと野川をこわす道路”はいらない	
小金井都市計画道路 3・4・11 号線の道路整備の必要性は否めない。としつつも、はけ・野川及び武蔵野公園の自然環境をできる限り守るとする市長と、おもに直近の動静について“話をしよう”。	

一般質問の通告について

発言順

19

令和 8年 8月 24日
(西暦 2026)

(宛先)
小金井市議会議員

小金井市議会議員

河野 麻美

発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
1 <u>「市民まつり」は本当に再開出来るのか！？</u> 令和5年に開催された「第51回小金井なかよし市民まつり」を最後に、これまで事務局を担っていただいていた小金井市商工会より、次年度以降の受託を辞退したいとの申し出があり、市が休止の判断をして以降、今日に至るまで再開できていない。これまで議会から示された決議も踏まえ、市民まつりの現状について問う。 ・ 検討状況、検討体制について ・ 市の考える市民まつりの目的は ・ 今、市民に伝えるべきことは何か	
2 <u>「稼ぐ自治体」についてこの4年間の取り組みは</u> 市長が掲げた「稼ぐ自治体」の考え方がこれまでどのように具体化され、どのような成果に繋がったのか問う。 ・ 稼ぐ自治体とは ・ 取り組み、成果について ・ 4年間の評価	

一般質問の通告について

発言順

20

令和 8 年 8 月 24 日
(西暦 2026)

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

渡辺 大三

発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第 60 条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
1 クビアカツヤカミキリから名勝小金井(サクラ)を守る施策の推進を ① クビアカツヤカミキリに関する現状把握 ② クビアカツヤカミキリから名勝小金井(サクラ)など市内の貴重な樹木を守る施策の展開を。先進自治体の取り組みを参考に必要経費を来年度予算に組み込まないか。 2 行政の不作為が重大事故につながる・・・交通安全対策の推進を ① 北大通り、緑町郵便局の目の前の横断歩道が消えかかったまま長期間放置されている件について。すみやかな是正を。 ② 停止線、止まれ、横断歩道、路側帯の白線などの路面標示が消えかかったまま放置されているケースが多いが、どの程度まで薄れたら引き直すのか、基準なり、マニュアルなりはきちんと整備されているのか？苦情待ちか？ 3 白井市政4年間を検証する(その2) ① 白井市長の任期最終の定例議会となるので、4年前の市長選の際の主要公約に関して、さまざまな角度から、市長の認識や見解を問う。	

一般質問の通告について

発言順

21

2026年 8月 24日

(宛先)
小金井市議会議員

小金井市議会議員

片山かおる

発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
1. <u>社会教育の衰退につながる公民館有料化は撤回せよ</u> 小金井の公民館職員も共に作成してきた1974年に提唱された「三多摩テーゼ」では、公民館無料の原則は「誰でも使える公民館」の実現のためには絶対的な原則であった。「新しい公民館像をめざして」を今一度振り返り、戦争のなくならない世界状況の中で、小金井の公民館がどのようにして市民の「社会教育の自由」を守り続けられるかを問う。 1) 8/1, 2に小平市の白梅学園大学で開催された『第65回社会教育研究全国集会 考えあう力を手放さず「権利としての社会教育」を地域から実現していこう』は近隣で開かれた貴重な研修機会であり、市民の参加や登壇もあった。小金井の社会教育関係職員や審議会関係の市民は参加しているか。どのように参考にしたのか。 2) 「公民館40年のあゆみ」を参考に、これまでの公民館運営はどのような特徴をもち、どのような評価をされてきたものだったかの認識は。 3) 「新しい公民館像をめざして」の中での4つの役割、7つの原則、4つの課題、公民館職員の5つの基本的任務、求められた施設空間などについて、どのように果たしてきたのか果たせなかったものは何か。 4) 公民館有料化説明会で出された意見について、どのように対応するのか。 5) 公民館の手引きの見直しが必要ではないか。 6) 誰も排除しない公民館運営、社会教育の自由と権利を守るためには何が必要か。 2. <u>利用者目線の生活保護行政となっているか</u> 1) 最高裁判決に基づく追加（遡及）支給について、2013年の基準引き下げの根拠は何だったのか。裁判で違法と判決されたが、違法な処分に従ってきたことに対して自治体としての謝罪は。支給金額が半額にされた根拠は妥当と考えるのか。 2) 全国での不適切な対応事例を把握し、その反省を市の生活保護行政に反映させているか。 3) 家族介護料加算については計上漏れはないか。 4) 国立市の生活保護のしおりやWebサイトなど、市民に寄り添った生活保護行政を参考にしないか。厚労省監査の結果はどのように改善されているか。利用当事者も含む第三者機関による生活保護行政の検証を行い、ブラッシュアップしていないか。 5) そもそも生活保護基準が低すぎる。物価上昇に伴う扶助基準引き上げを国に要求しないか。	

一般質問の通告について

発言順

22

令和 8 年 8 月 24 日
(西暦 2026)

(宛先)
小金井市議会 議長

小金井市議会 議員

水谷 たかこ

発言通告書（一般質問）

小金井市議会 会議規則第 60 条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
1 在宅避難を支える仕組みを～災害時の妊産婦・乳幼児支援を考える 【趣旨】熊本地震、千葉の豪雨災害、そして本市でも8月23日には震度4の地震があり、災害はいつ起こるか分からない。避難所にいる市民をどう支援するかだけではなく、避難所に来ない、あるいは来ることが困難な妊産婦や乳幼児、特に産後間もない母子を、市はどのように把握し、必要な支援につなげるのか。 (1) 在宅避難者への食料・物資支援は計画に位置付けられているか (2) 在宅避難している要配慮者を、どう把握するのか (3) 母子保健の仕組みを災害時のアウトリーチにつなげよう (4) 10月導入予定の母子健康手帳アプリを災害時にも活用しよう	
2 国の新たな方針を踏まえた在宅医療・介護連携の再構築について 【趣旨】本市は、「在宅医療・介護連携推進会議」を設置し、4つの部会で個別事業に取り組んできた。しかし国の政策は、2040年を見据え、医療・介護だけでなく、障がい福祉、防災、救急、医療的ケア児支援等を含む分野横断的な地域の在宅療養体制へと進んでいる。小金井市の現在の計画、会議体、庁内連携、評価指標は、その変化に十分対応できているのか。 (1) 厚生労働省は2025年3月に改定した「在宅医療・介護連携推進事業の手引き」Ver.4をどう受け止めているか (2) 「在宅医療に必要な連携を担う拠点」をどこに位置づけるのか (3) 高齢者以外の在宅療養者との接続 (4) 支援室の機能拡充が必要ではないか	
3 児童・生徒の安全と緊急時の連絡体制確保のために 【趣旨】児童・生徒の安全を守るため、学校現場における盗撮等の防止策を徹底する必要がある。一方、急病や事故、不審者対応、災害等の緊急時には、教職員がその場を離れることなく、速やかに応援を求められる連絡体制が必要である。教職員の私物スマートフォンの取扱いを見直す動きがある中、本市の学校における緊急時の連絡体制について問う。	

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
(1) 市立小中学校における緊急時の連絡体制は (2) 教職員の私物スマートフォンの取扱いと、公務用通信手段の確保 4 人事異動における円滑な事務引継ぎのために 【趣旨】人事異動に際しては、市民サービスや事業の継続性を確保するため、前任者から後任者への十分な事務引継ぎが重要である。特に、年度末をもって退職・転職する職員については、前任者が在職している間に後任者との直接の引継ぎができる期間を確保することが、市役所そして市民の利益にかなうのではないかと。 (1) 4月1日付の定期人事異動について、本人への内示、庁内での周知・公表、事務引継ぎ、辞令交付まで、現在どのような日程・手順で行っているか (2) 年度末に退職（転職）する職員について、後任者への事務引継ぎはどのように行っているか。前任者と後任者が直接引継ぎを行う機会は確保されているか (3) 多摩地域の他自治体では、本市より早い時期に内示・公表を行っている事例がある。他市の内示、公表、引継ぎ等のスケジュールを調査・比較したことはあるか (4) 市民サービス及び事業の継続性を確保する観点から、前任者と後任者が直接かつ十分に引継ぎを行える期間を確保するよう、人事異動のスケジュールを見直さないか	

一般質問の通告について

発言順

23

令和 年 8 月 2 4 日
(西暦 2 0 2 6)

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員 森戸よう子

発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第 6 0 条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
1. 物価高騰から市民生活を支援する施策について再び問う	
(1) 幼稚園児への経済的支援の拡充を	
(2) 小中学校の副教材費、修学旅行費用等の負担軽減を問う	
(3) 低所得者世帯の高校生の交通費手当の支給を	
2. 今後の高齢者借り上げ住宅の市の対応について	
(1) コーポくりのみの廃止の経過と市の対応について	
(2) 低所得者のひとり暮らし高齢者への家賃補助を	
3. 災害対策の更なる拡充・強化を	
(1) 木造住宅耐震化の助成制度の拡充をしないか	
(2) 感震ブレーカーの周知と助成を行わないか	
4. 新庁舎等建設事業、学校施設の長寿命化計画について	
(1) 財政規律ガイドラインを超えることについて、市の見解を問う	
(2) 新庁舎等建設の現設計の災害（地震、浸水）対策は大丈夫か。見直す必要があるのではないか？	